

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	瀬戸市のぞみ学園		
○保護者評価実施期間	2025年11月20日		～ 2025年12月3日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31 (回答者数)	26
○従業者評価実施期間	2025年11月28日		～ 2025年12月12日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8 (回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多職種の職員が支援にあたっており、互いに連携することで、支援内容の充実が図れる。	定期的に、ST、OT、PTに療育に参加してもらい、職員への助言をもらうだけでなく、巡回指導や障がい相談支援地域アドバイザーにもアドバイスをもらっている。	大学教授など外部の専門家にもアドバイスをもらい、職員の資質向上を図る。
2	保護者のニーズを聞き取り、園児のアセスメントを丁寧に行い、園児の特性や状況に合わせた個別支援支援計画を作成している。	保護者との面談を通して、保護者のニーズを把握する。	複数の職員で園児の様子や保護者支援を話し合い、多角的な視点で捉える。
3	行政、医療、福祉の協力体制がある。	行政機関として、それぞれの機関と連携している。	顔の見える関りを継続し、他施設も巻き込んだ市主体の連携の円滑化を目指す。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域や他事業所との交流が少ない。	感染症などに配慮すると、隣接保育園等との交流が思うようにならなかった。他事業所と関わる機会が乏しい。	保育園等との打合せの機会を作り、年間で交流予定を組んでいく。また、様々な交流方法を提案していく。のぞみ展の開催を広く周知し、地域住民や他事業所に来園してもらう機会とする。
2	施設が古い。	施設が古い。	順次改修工事で適宜修繕を行っており、園児が過ごしやすい環境に整える。
3	きょうだい支援が少ない。	スペース、人員の要因から直接的なきょうだい支援のイベント等を行っていない。	学園行事の中で、きょうだいが参加できるものをできる範囲で増やしていく。